

令和2年度第3回神岡地域協議会会議録

令和2年12月15日

神岡地域協議会

令和2年度第3回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	3
■会議録署名委員の指名について	4
■ワークショップ	4
■案件	
(1) 地域枠予算活用事業について	5
■その他	6
■閉会	9
■署名	9

令和2年度 第3回神岡地域協議会 会議録

■日 時： 令和2年12月15日（火） 午後1時50分

■会 場：神岡農村環境改善センター 多目的ホール

■出席委員：8名

池田君男、工藤容子、今真弓、齊藤 劼、
齊藤 亘、鈴木幸一、高橋しげ子、中村淑子

■欠席委員：6名

伊藤明美、今野由美子、佐々木尚美、佐藤和彦、
高橋 保、高橋尚子

■出席職員：3名

小田原 一 春（神岡支所長）
舩谷 恵理子（地域活性化推進室 主幹）
佐藤 孝（地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名について
- 5 ワークショップ
- 6 案件
（1）地域粋予算活用事業について
- 7 その他
- 8 閉会

(午後1時50分 開会)

○事務局（地域活性化推進室）

本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ただ今から、令和2年度第3回神岡地域協議会を始めさせていただきます。
はじめに齊藤会長よりごあいさつをお願いします。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆様お疲れ様でございます。大変お忙しい中ご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。本日はいつもと違う雰囲気の中での地域協議会で、緊張をしているところ
です。

さて、以前よりお話しをしておりました、小・中学生へのエール事業でございますが、皆様から100%のご理解をいただきまして、明後日17日に平和中学校へ賞状と記念品をお届けする予定でございます。地域枠予算につきましては、今年から、事務局サイドで採択されたものが委員に提示されるという形になっており、これも新しい取り組みかと思っております。今回のエールを送る事業も、そういったものに則りまして進めさせていただきました。

これから今回のワークショップに入るわけですが、委員の皆様には、そういう新しい取り組みからいかに神岡をつくり上げていくかということを考えながら、ぜひ、やわらかい考えを振るっていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、今日は平和中学校から6名の生徒さんにご参加をいただいております。ご覧になった方もいるかと思いますが、昨日、今年の漢字というものがテレビで報道されておりました。予想通りと申しますか、「密」という漢字でございました。その後でしたが、興味深いと思いましたが、小学生が選んだ今年の漢字というものも報道されておりました。一位が「笑」という漢字、二位が「幸」、三位が新しい生活様式といったような意味も込めて「新」でした。我々はどうしても、今年一年を漢字一文字でと言われますと、歳とともにだんだんと固くなりまして、「密」と聞いてやっぱりなと納得した感がありましたけれども、やはり小学生は若い柔軟な頭の中なのだなと思っております。こういうポジティブな漢字が三つ揃うというのは、我々ではなかなか思いつかないものと思っておりますので、平和中学校の生徒の皆さんには、ぜひそういう新しい発想、やわらかい考え方をこの場でご披露いただければと思います。よろしくお願いいたします。

八嶋さん、奥さん、平本さんには、この悪天候の中お越しいただきましてコーディネートをしていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。また、嶽雄館の方からは高橋さんにもコーディネーターとしてお手伝いをいただきます。よろしくお願いいたします。

今日はぜひ、これからの神岡地域をここから発信するつもりでよろしくお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございました。
続きまして、小田原支所長よりごあいさつを申し上げます。

○小田原支所長（以下「支所長」と表記）

本日は、年末のお忙しい中にもかかわらず、ご出席いただきましてありがとうございます。

早いもので、今年もあと2週間余りで、暮れようとしています。今年も、例年と大きく違った年となり、私たちの生活にも多くの制約が課された年となってしまいました。現在、第3波ということで、GoToトラベルの一時停止、大都市などでは、年末・年始の帰省を諦めて、自宅で過ごそうとする人たちが多くなるとの報道がなされております。皆様も、風邪などには十分に気を付けて、お過ごしくださるようお願いいたします。

では、前回9月28日以降の当支所管内の主な出来事につきましてご報告申し上げます。

始めに、10月11日、大仙市誕生15周年記念表彰式が大曲市民会館で行われ、席上、当地域・蒲地区の故佐々木宗輔さんが、単位老人クラブ会長や大仙市老人クラブ連合会会長を長年務められた功績により、社会福祉功績者として表彰されております。また、神宮寺地区を中心として環境保全活動などを実践しているさくらの会も地域振興団体として、感謝状を贈られております。

10月24日、かみおか地域ミニ文化祭が、嶽雄館・改善センターなどを会場に開催されました。今年も、感染症拡大防止のために、例年実施しているステージショーは行わずに、地域内の文化サークルや小・中学校児童生徒、嶽友大学などの受講生の作品展示と地元エール飯や特産物販売などが行われました。来場者は、例年より、少ないように感じられましたが、多くの方が秋の一日を楽しんでいたようであります。

また、10月29日には、仙北ふれあい文化センターで大仙市金婚式が開催されました。今年も、昭和45年4月から翌年3月の1年間に結婚されたご夫婦が対象で、市全体から40組の申込みがありましたが、当日、出席されたご夫婦は、28組でした。神岡地域からも3組のご夫婦が出席され、金婚を記念して市から賀詞と記念品が贈呈されております。

11月には、建物のボヤ火災と原野火災の2件の火災が発生しましたが、大きな被害には至らず、また、けが人などもいませんでした。

11月3日、今年の秋の危険業務叙勲、また秋の定例叙勲には、神岡地域から1人ずつ、2名の方がいずれも瑞宝単光章を受章されております。危険業務の叙勲では、防衛功労分野で、駅前地区の元3等陸尉 藤井 忠康さん、61歳の方が、また、定例叙勲では、大仙市消防団神岡支団長を務められた関口地区の斉藤 博さん、70歳が長年のそれぞれの功績で受章されております。

12月1日には、今年で3年目となる地域協議会で作成した神岡地域カレンダーを地域全域の全世帯に配布しております。

また、12月9日には、老松市長をお迎えまして自治会連合会が主催する地区座談会が福祉センターで開催され、7つの要望項目についての懇談を実施しております。

以上、ご報告申し上げます、簡単ではありますが、開会のあいさつといたします。

本日は、よろしく願いいたします。

○事務局（地位活性化推進室）

この後の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長をお願いいたします。

○会長

それでは会議を始めます。

本日、伊藤明美委員、今野由美子委員、佐々木尚美委員、佐藤和彦委員、高橋保委員、高橋尚子委員より欠席の届け出がされておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立することをご報告申し上げます。

次に会議録署名員を指名いたします。本日、第3回の会議録署名委員は、4番今真弓委員と10番鈴木幸一委員にお願いいたします。

では、ワークショップに入らせていただきます。はじめに、今日のコーディネーターの方々を支所長よりご紹介いただきます。

○支所長

それでは、私の方から本日の講師としてお招きした方々をご紹介いたします。

はじめに、県南NPOセンター理事の八嶋英樹（ヤツシマ ヒデキ）様です。

同じく、コーディネーターの奥ちひろ（オク チヒロ）様です。

続きまして、まちづくりファシリテーターの平本美沙緒（ヒラモト ミサオ）様です。

最後に、神岡中央公民館の高橋寛光（タカハシ ヒロミツ）主査です。皆様よろしく願います。

それでは、さっそくではございますが、ワークショップの進行につきましてよろしく願います。

【ワークショップ】

■ワークショップのねらい、グランドデザイン、今回のテーマについての説明

■グループ内自己紹介

■懸念される神岡の未来を共有

- ・消滅可能性都市について
- ・財政破綻した夕張市の事例紹介
- ・大仙市の人口統計データから将来を予想

■感想共有

- ・若い人に残ってほしいが、そのためには子育てのしやすさと働く場所が必要。
- ・若い人は秋田市や大曲地域に魅力を感じ、憧れている。
- ・地元が好きな子どももいる。
- ・「戻ってこいよ」という大人の声で帰ってきた人もいる。
- ・地域に魅力があれば帰ってくる。
- ・新幹線や飛行機などが利用しやすく、秋田市や横手市、大都市へもアクセスしやすいという地の利がある。
- ・“住む場所”としての神岡も良いのではないか。

■神岡の理想の将来像（住みたい、帰って来たい、関わりたい神岡）についてのグループワークと全体共有

- ・若い人が集まり、楽しくワクワクする生活。イベントで人が繋がる町。

- ・人々の繋がりがあがり思いやりや尊敬し合いながら、お互い声をかけ合い親しみつつ、家や地元に戻ったらみんな心がほっとするような神岡であってほしい。
- ・地域の人との関わりの中で安心や親しみを感じることができる、また、ほっとしてくつろげる神岡。
- ・自分も地域の人にも親しみの持てる環境でいきいきとした気持ち。
- ・いきいきとした地域であると、たくさんの方が行事に参加してくれると思うし、たくさんの方が明るくなると思う。
- ・親しみの持てる地域であることで周りとの接しやすさや雰囲気になり、自然と地域の繋がりが広がっていくと思う。親しみがあると住んでいて心地良いし、都会に出てもまた戻りたいと思うようになると思う。
- ・神岡らしい町並みをずっと保ってほしい。
- ・急激な変化や発展を求めてはいない。

○事務局（地域活性化推進室）

ワークショップは以上です。コーディネーターの皆様、平和中学校の皆さんはここで退室となります。大変お疲れ様でした。次回の日程につきましては、関係者の皆さんとの日程調整後にお知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

ここで5分間休憩を取りまして、その後、地域枠予算活用事業の説明に入りますので、協議会委員の皆様は今の席にお集まりください。

コーディネーターの皆様と平和中学校の生徒さん方に、いま一度拍手をお願いいたします。ありがとうございました。

（休憩）

○会長

それでは再開いたします。

次第の6. 地域枠予算活用事業について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料 No. 1-1～1-4に基づき説明】

行政主導型

- ・ワークショップ形式による地域の課題・資源発掘事業（地域協議会自主事業）

事業の目的：中学生を交えて意見交換を行うことで、地域の課題や魅力を発見し、地域協議会委員の重要な役割である地域を元気にするための事業の提案につなげる。

事業費：197,234円

- ・小中学生表彰事業（地域協議会自主事業）

事業の目的：新型コロナウイルス感染症拡大により、各種大会等が中止や規模縮小となったことを受け、神岡小学校6年生と平和中学校3年生に、活躍の場が失われても自分の夢や目標に向かって努力したことに対し、賛辞とエールを

送ることを目的とする。

事業費：178,190円

市民主導型

・ふるさとPR事業

事業の目的：東京嶽雄会は、会員の高齢化やライフスタイルの変化などにより、年々会員が減ってきている。毎年、地元神岡から東京嶽雄会に参加して応援している者を中心に発足した当会が、様々な形で東京嶽雄会を応援することによって、会員の減少に少しでも歯止めがかかり、活動の活発化に寄与することと、東京嶽雄会と当会の交流が深まることを目的とする。

申請者：東京嶽雄会をふるさと神岡から応援する会

申請額：71,666円

○会長

ありがとうございます。ただ今の説明に対しまして、ご意見、ご質問を頂戴いたします。

私の方から一つ補足をさせていただいてもよろしいですか。賞状の方は良いのですが、記念品の方はなぜ時計なのかと思われるかと思ひまして、表に「新たな時を刻もう」という文字を、裏には日付と神岡地域協議会の文字を入れております。

皆さんからはよろしいですか。

(質問・意見なし)

ありがとうございます。続きまして、次第の7. その他ですが、事務局からお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

音楽交流館の花壇の植栽についてですけれども、夏の花が終わったものを11月に抜いて処分いたしました。例年ですと、その後に来年の春に咲くように花苗を植えておりましたが、今年はそのままにしてあります。と言いますのも、前にもお話ししましたが、音楽交流館の花壇の植栽は、音楽交流館祭りの時に音楽交流館の周りもきれいにし、そこから賑わいを発信したいということで皆さんにもご難儀をおかけして植えまして、大変好評なのですが、音楽交流館の利用が制限されたために、この場所でのイベントの開催はできなくなりました。そこで、本来であれば今年度も行う予定だったのですが、農村環境改善センターと神岡中央公園を会場として、夏祭りをイメージしたイベントの開催を地域の魅力再発見事業で計画しております。ただ、前回のフィールドワークにご参加いただいた方はご覧になったかと思いますが、中央公園の花壇は防草シートを掛けていて、花は何もない状態となっています。ですので、事務局案といたしましては、音楽交流館の花壇整備をやめて、地域協議会の自主事業としては中央公園のみに花を植栽するか、任意団体を探して音楽交流館の花壇はお願いし、中央公園は自主事業で行うか、またはその逆でも良いのですが、そのような方向で、次の植栽の時季までに皆さんの考えをお聞きしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

○会長

ありがとうございました。ただ今の件につきまして、ご質問やご意見はございませんか。
よろしいですか。
ほかに何かございませんか。

(質問・意見なし)

私から質問をよろしいでしょうか。この後の地域協議会は何回予定されているものでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

予定としましては、ワークショップを残り2回と通常の協議会を1回行いまして、例年通り年6回の開催と考えております。

○会長

そうしますと、年明けのスケジュールはだいぶタイトになるということですね。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。1月から3月まで月1回ずつの開催になるかと思われます。

○会長

そういうことですので、よろしく願いいたします。
委員の皆さんから何かございますか。

○齊藤勲委員

ワークショップに参加してくださる中学生は、2回目、3回目も同じ人達が来るのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

同じメンバーです。参加してくださるのは生徒会執行部の皆さんですので。

○支所長

3年生が引退しましたので、今日来てくれたのは1、2年生の新執行部、生徒会長さんや副会長さん達です。この後も同じメンバーで進めていきたいと思っております。

○齊藤勲委員

そうすれば、会場も改善センターですね。

○事務局（地域活性化推進室）

1月と2月のワークショップは改善センターでおこなって、3月の協議会は支所で行う予定です。

○支所長

6回目の会議で、このワークショップを文章にまとめるなどできればと考えておりますので、よろしくをお願いします。

○会長

私からも一つよろしいでしょうか。今日、冒頭にお話しをさせていただきましたけれども、地域協議会の在り方が、地域枠予算の審議・承認ではなくなっているというところを、委員の皆さんにいま一度、再確認していただきたいと思います。そして、できれば地域協議会からのプレゼンとして、何か事業を提案するという考えの下で会議にご出席いただきたいと思います。ないものを絞って出すということではなく、普段気が付いたことでもいいですし、今回の表彰事業のような形で、活用できるものはどんどん活用して行って、事務局サイドでもんでいただいて実現できるように進めていく形にすると、地域協議会ももっと活発になっていくのではないかと感じておりますのでご協力をお願いします。いいアイデアがあれば迷わず提案してください。

○工藤容子委員

一つよろしいですか。事務局のお話にあった夏祭りというのは、いつ頃行う予定だったのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

今年度も開催できていれば、6月後半の日曜日に開催する予定でした。来年に関しては7月以降になるかもしれません。

○支所長

こういう状況ですので、原則、屋外での開催を考えております。そうすると気候のことも考えて計画していくことになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○高橋しげ子委員

座談会の時に、ある地区から出たものですが、これまで農地・水・環境保全の方で行っていた公園などの草刈りができなくなって、ボランティアで刈っているという所がありまして、なんとかならないものかという話がありました。その地区の人達がやるしかないのかなという話になりましたが、今まで出たことがなかった話でしたので。これは、地域枠では難しいかもしれませんが、何か良い方法というのはあるのでしょうか。農地・水ではやはり農業に関係したものはできますけれども、それも今まではうまく活用してきましたが、やる人達も高齢化してきているものですから、継続するというのはなかなか難しい気がします。今はボランティアでやってくれていますが、その人もある程度の年齢になってくれば大変かなとは思っています。そのあたりも、これからはこの地域でも同じような課題が出てくるのではないかと思いますので、ちょっと考えていただければと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

我々も先日の神岡地区座談会に出席させていただいたのですが、やはり草刈りとか空地とか環境に関する事は多くなってくるのだろうなと感じております。今ここで、お金

を出せるという確約はできないですけれども、いろいろと方法はあるかと思しますので、情報を仕入れて検討をしたいと思います。

○高橋しげ子委員

もしあればと思ってでした。よろしくお願いいたします。

○会長

ほかによろしいですか。

(質問・意見なし)

そうしますと、今日は大変長い時間でしたけれども、ご協力ありがとうございました。これで全日程を終了いたします。お疲れさまです。

(午後4時50分 閉会)

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

